

(筆者の) 司祭叙階を  
機に、かつての初聖体ク  
ラスのメンバーで毎年集  
まることが決まった。以  
来、一度も欠かすことな  
くこの集まりは続いてい  
る。独身の者、結婚して  
いる者。子どもがいる者、  
いない者。教会に顔を出  
す者、ほとんど顔を出さ  
ない者。さまざまである  
▼最初のころは、思い出  
を語ったり、夢を語った  
りする、ただ楽しい会で  
あったのだが、歳を重ね  
るにつれて人生のさまざま  
まな問題について自然に  
分かち合う会になってい  
った。同級生のよしみで

互いに気兼ねなくものが  
言える素晴らしい仲間た  
ちでもある▼ことしの集  
まりでは、二十年近く教  
会に来ていない仲間とじ  
つくり話すことができ  
た。家族で自分一人だけ  
が信者。主日の「務め」の  
大切さは重々知っている  
のだが、なかなか教会に  
行くことができない。子  
どもが小さい時は、行

こうとして準備していて  
も、いざ行く時になると  
不都合なことが起こって  
行けない。そのような時、  
「絶対遅れてはいけない、  
という教え？」が耳に響  
き、行きそびれてしまっ  
た。彼は言う：自分に対する  
甘えがあるのは認めるけ  
れども、教会はあまりに  
も「絶対、絶対」と言い  
過ぎるのではないか。絶  
対、教会で結婚式をしな  
ければならない。絶対、  
子どもに洗礼を授けなけ  
ればならない。日曜日は  
絶対教会に行かなければ  
ならない。堅信の準備は  
絶対休んではいけない：

▼そうしなければいけな  
いことは分かっている  
し、そのようにできれば  
いいと思っている。でも、  
現実には、いつも完ぺき  
に、絶対できるとは限ら  
ない。要求する側もそれ  
が分かった上で言ってい  
るのであるが、要求さ  
れる側にとっては、想像  
以上にプレッシャーにな  
ることがある。分かって  
いるのなら「絶対」とい  
う言葉は使わないで、も  
っとやさしい言い方で勧  
めてはどうだろうか。こ  
の集まりは来年で二十五  
回になる。彼は近々、教  
会に来るそうだ。(Y)

